

## 平成 28 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

### 1. 調査研究テーマ

- (ア) 「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究
- (イ) 「幼児教育センター」の設置に関する調査研究
- (ウ) 幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

### 2. 平成 28 年度に実施した主な調査研究内容

#### (1) アドバイザー訪問施設数（平成 29 年 3 月 31 日時点）：

| 幼稚園  |     |      | うち、幼稚園型<br>認定こども園 |     |     | 幼保連携型<br>認定こども園 |     |     | 保育所   |       | うち、保育所型<br>認定こども園 |     | 地方裁量型<br>認定こども園 |     | 小学校  |
|------|-----|------|-------------------|-----|-----|-----------------|-----|-----|-------|-------|-------------------|-----|-----------------|-----|------|
| 2/63 |     |      | 1/2               |     |     | 0/3             |     |     | 4/150 |       | 0/0               |     | 0/0             |     | 0/63 |
| 園    |     |      | 園                 |     |     | 園               |     |     | 所     |       | 園                 |     | 園               |     | 校    |
| 国    | 公   | 私    | 国                 | 公   | 私   | 国               | 公   | 私   | 公     | 私     | 公                 | 私   | 公               | 私   |      |
| 0/0  | 0/9 | 2/54 | 0/0               | 0/1 | 1/1 | 0/0             | 0/0 | 0/3 | 0/50  | 4/100 | 0/0               | 0/0 | 0/0             | 0/0 |      |
| 園    | 園   | 園    | 園                 | 園   | 園   | 園               | 園   | 園   | 所     | 所     | 園                 | 園   | 園               | 園   |      |

※アドバイザー配置人数：0人

※平成 28 年度時点でアドバイザーは配置、派遣していないが、ニーズ把握のヒアリングのため、各施設を訪問した。

#### (2) センターの設置：

- ・ 設置年度：設置予定（平成 33 年度）
- ・ 設置形態：新たな教育センター（平成 33 年度開設予定。教職員の研究・研修や学校支援など 6 つの機能）機能の 1 つとして、幼児教育センター（（仮称）乳幼児教育支援センター）を設置

#### (3) その他幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

- ・ 世田谷がめざす幼児教育のあり方検討～「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」策定に向けた検討
- ・ 世田谷版アプローチ・スタートカリキュラムの作成

### 3. 成果

#### (1) アウトプット

- ・ 「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」策定に向けた検討（平成 28 年 6 月～29 年 3 月）…世田谷区がめざす乳幼児期における教育・保育のあり方を示す（仮称）「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の策定に向け、学識経験者、公私立幼稚園・保育園代表者、保護者代表、区幹部職で構成する世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン策定委員会を立ち上げ、検討を進めるとともに、幼児教育センター専門部会をはじめとした各専門部会を立ち上げ、文部科学省委託事業の主たる目的である幼児教育アドバイザーの巡回や幼児教育センターの設置に向けた検討を進めた。
- ・ 幼児教育アドバイザー制度の検討（平成 28 年 6 月～）…幼児教育アドバイザー制度の検討として、区内公私立幼稚園・保育所等の現状や課題の把握や、ヒアリング等による実態把握に努めた。
- ・ 「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」策定に伴う区民アンケート調査の実施（平成 28 年 7 月，9 月）…「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の策定にあたって、0～5 歳の子どものいる家庭、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校を対象に、それぞれの状況や意向を把握するためのアンケート調査を実施した。

## No. 8 世田谷区 幼児教育・保育推進担当課

- ・ 幼児教育センター機能の検討（平成 28 年 7 月～10 月）…世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン策定委員会の専門部会として、幼児教育センター専門部会を立ち上げ、機能のあり方について検討を行った。
- ・ 世田谷版アプローチ・スタートカリキュラムの作成（平成 28 年 7 月～29 年 2 月）…27 年度より検討してきた世田谷版アプローチ・スタートカリキュラムについて、学習指導要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂・改定内容や世田谷がめざす幼児教育のあり方検討等を踏まえた上で作成した。
- ・ 区民ワークショップの実施（平成 28 年 10 月）…平成 28 年 10 月 22 日（土）に、平成 28 年度世田谷教育推進会議ワークショップを開催した。ワークショップのテーマの 1 つとして、「家庭の教育力向上に向けた支援」を設定し、「親子が生きる力を家庭で育む」「イベント・避難所運営訓練で生きる力を育む」「大人のゆとりが子育てを豊かにする ①親が集まれる場を作る、②読み聞かせからはじめる→幼児教育」について提案された。
- ・ 幼児教育センター、アドバイザーに期待すること等について、幼稚園、幼稚園型認定こども園、保育所に対してヒアリング調査の実施（平成 29 年 3 月）…2（1）のとおり、私立の幼稚園、幼稚園型認定こども園、保育所に対し実施した。

### (2) アウトカム

- ・ これまで公私立の幼稚園・保育所，区立小・中学校が同一のテーブルに着き，議論する場はなかった。「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」策定を通じて，お互いが大事にしたい幼児教育のあり方などを議論することにより，区長部局及び教育委員会を含め，今後の連携に向けた契機とすることができた。
- ・ 「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」策定に伴う区民アンケート調査においては，区内全ての公私立幼稚園，認定こども園，保育園等も対象に調査を行っている。調査の結果，いずれの施設においても，年齢層が 20 代の若い保育者が非常に多い結果となった。産休・育休等による代替の保育者の採用にも苦勞しているという声も聞いており，日常の保育の充実を図ることで手一杯という現状が見えてきている。  
このため，幼児教育アドバイザー制度については，小学校との連携などのコーディネート，保育者等の資質及び専門性の向上に加え，若手保育者の人材育成や人材確保という視点も踏まえ，今後も検討を進めていく。

### 4. 上記を含めた，平成 29 年度の実施計画

- ・ 「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」に基づく具体の施策の計画化
- ・ 幼児教育アドバイザー派遣の試行，世田谷版幼児教育アドバイザー制度の構築
- ・ 世田谷版アプローチ・スタートカリキュラムの検証
- ・ 普及啓発事業の実施